



疑うということ

副校長 保土澤 尚教

体育科学習発表会では、緊急事態宣言下で多くの制限の中、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。ご提出いただいたアンケートの1枚1枚から、今後のことを改めて考えさせられます。感染リスクをゼロにすることはできない中で、安全をどのように考えていくべきか。

安全というと「全く危険がない状態」を連想しますが、学校の性質上、感染症への絶対的な安全は有り得ません。その中で、子供たちや保護者・地域の皆様と、どこまでのリスクを許容し、コロナ感染症から優先的に何を守るべきか。異なる立場や考えを互いに尊重し合いながら、引き続き対話を重ねていく必要性を実感しています。

7月となり、子供たちは校内外で喜怒哀楽、様々な表情を見せています。困っている子供たちと話す機会も増えてきました。その際、私は自分の思い込みで決めつけないために「疑うこと」を大切にしています。それは、最終的に子供を信じることに繋がると考えているからです。

まず、子供たちは集団で活動しているため、誤解や捉え違い等は起きやすいものです。困っているときほど、本音が伝えにくいこともあります。思いが強い時ほど、全体は見えにくくなります。だからこそ、冷静に話を聞いて思いを受け止めた上で、「他に方法は何か無かったかな。」「振り返って、もしかしたら、と思うことはないかな。」と、状況を一緒に整理して、本当にその通りだったのかを、あえて本人と異なる視点で疑い、確認するようにしています。

学生時代に自己分析の心理学モデル『ジョハリの窓』を知る機会がありました。これは、「自分も他人も知っている自分」、「自分は知っているが、他人は知らない自分」、「自分は知らないが、他人は知っている自分」、「自分も、他人も知らない自分」の四つの視点から、自己理解を進めるものです。自分自身のことでも、盲点や未知の領域があるように、物事や子供たちの言動においても、私たちが見えていない、又は知らない部分必ずあります。このことを前提にすると、相手や周囲に聞いたり確認したりする必要性が生まれ、相手と関わることの大切さや、相手の存在に対する敬意を実感しやすくなっていきます。子供の成長や、もつ力を信じるからこそ、本当にそうなのかを疑い、子供に問いかけることが大切だと実感しています。

多くの情報が溢れる時代となり、その情報に対して「疑うこと」は不可欠なことになりました。情報だけを鵜呑みにしては、誤った情報も嘘も、本当のここのようになっていく危険性もっています。以前に本校で設定した『SNS松仙ルール』も、現状に合うように、代表委員会を中心に見直すことにしました。子供が思うようにいかない場面に立ち会った時、これからの時代を生きるために必要な力と言われるレジリエンス（逆境から立ち直り成長する力）を、ご家庭と連携して育てていきたいと思えます。子供たちの声と思いに、耳と心を傾けながら。そして、本校の取組が最適解や納得解となっているか、問い直し続けていきます。

自分たちの生活に生かせる学習を

4年2組担任

4年生の社会科では、「わたしたちのくらしとごみ」という学習を行いました。私たちが出したごみはどのように分別され、収集されているのかを調べました。また、ごみを減らすための工夫として処理する際に燃やしたり砕いたりしていること、排熱の利用など、環境を守るための取組が行われていることを学習しました。自分たちの生活から出るごみのゆくえについて興味をもち、環境への影響を踏まえたよりよいごみ処理の在り方、健康で衛生的な生活を維持するためにはどうしたらよいか、ごみを減らすための工夫などについて一人一人考え、ポスターにまとめました。「分別は丁寧にしよう」、「詰め替えボトルを使ってごみを減らそう」、「3Rの取り組みを生活に取り入れよう」など、自分たちの生活と関連付けながら実践に繋がる学習をすることができました。

LINE スタンプでコミュニケーションを豊かに

6年1組担任

6年生の総合的な学習の時間では、昨年度までコマ撮りアニメの制作に取り組んできました。その成果と課題を踏まえ、今年度はLINEスタンプの制作と販売に挑戦しています。芸術性を必要とするものを制作することを通して美意識を育むとともに、自分たちが制作したスタンプを使ってどのようなやりとりが行われるかということにも思いを巡らせ、豊かな情報コミュニケーションが行われるためのスタンプの在り方や使われ方も考える機会にしたいと思っています。

現在、身近な人にLINEスタンプの活用状況などの情報をインタビューで収集したり、その結果を整理・分析したりしているところです。総合的な学習の時間で重要なことの一つは、ノイズの多い生のデータから自分たちの課題の解決のために必要な情報を的確に取り出すことです。収集した情報をどのように蓄積すると便利なのか、どの思考ツールを使うことが適切なのかなど、一つ一つ丁寧に話し合わせたり、必要に応じて助言したりしながら活動を進めています。

7月の行事予定

※○印の日が放課後遊びあり

日	曜	行事等	放
1	木		×
2	金	自転車教室3 読書学習の時間(たてわり班活動計画6)	×
3	土		
4	日		
5	月	放送屋会 保護者会(123)15:00 掃除なし123	×
6	火	保護者会(456)15:00	×
7	水	研究授業②(図画工作科・5-3)	×
8	木		×
9	金	安全指導	×
10	土	学校公開日 土曜3時間授業 情報モラル講習会 13:30	×
11	日		
12	月	社会科見学3年	×
13	火	クラブ③	×
14	水	たてわり班活動	×
15	木	避難訓練(不審者)	×
16	金	松仙タイム	×
17	土	校庭開放(おやじの会)	
18	日		
19	月	放送屋会なし 給食終 大掃除	×
20	火	終業式 4時間授業	×
21	水	夏季休業日始 夏季水泳指導(前期)始 図書室開放(9~12時)	
22	木	海の日	
23	金	スポーツの日	
24	土		
25	日		
26	月	図書室開放(9~12時)	
27	火	図書室開放(9~12時)	
28	水	図書室開放(9~12時)	
29	木	図書室開放(9~12時)	
30	金	夏季水泳指導(前期)終 図書室開放(9~12時)	
31	土		

8月の主な行事予定

20日(金)始~27日(金)終 夏季水泳指導(後期)
29日(日)東京2020大会競技観戦1256
30日(月)登校日

9月上旬の行事予定

日	曜	行事等	放
1	水	始業式 避難訓練(引き渡し)	×
2	木	火曜日時程 委員会(9月) 給食始	×
3	金	発育測定6 読書学習の時間(たてわり班活動計画6)	×
4	土	開校記念日 東京2020大会競技観戦34	
5	日		
6	月	放送屋会 発育測定5	×
7	火	木曜日時程 社会科見学5 発育測定4 児童・生徒の学力向上を図るための調査6	×
8	水	発育測定3 児童・生徒の学力向上を図るための調査5	×

- 半角数字は学年(例:遠足6=6年生の遠足)
- hは実施の時間(例:1h=1時間目)
- ○数字は回数(例:クラブ①=クラブ1回目)